

2015年

東京 講演

1月17日 (土)

TKP スター会議室四谷

アクセス: JR 中央線・総武線「四ツ谷駅」

四谷口徒歩2分 / 東京メトロ丸ノ内線・

南北線「四ツ谷駅」2番出口徒歩1分

開場: 午後1時 開会: 1時半

参加費: 1000円

神戸 講演

1月24日 (土)

兵庫国際交流会館

アクセス: 阪急神戸線「王子公園」

駅徒歩10分 / 東海道本線 (JR 神戸線)

「灘」駅徒歩5分 / 阪神本線「岩屋」

駅徒歩3分

開場: 午後1時 開会: 1時半

参加費: 1000円



南モンゴル自由民主運動基金主催

「南モンゴルの現状と未来」

これからアジアの民主化運動」

内モンゴル人民党主席

テムチレト

モンゴル自由連盟党元党首

ルービン

両氏来日記念講演

南モンゴルでは中国政府による弾圧と、草原を砂漠化する環境破壊が今も急速に進んでいます。私たちはこの現状を日本国の皆様に広く訴え、人権改善と環境保護を中国政府に求めると共に、当然の権利であり民族自決権の確立をめざし、具体的な運動起すためのシンポジウムを開催いたします。皆様のご参加と共に、報道関係各位のご協力をよろしくお願いいたします。



ショブチョード・テムチルト
Shovchuud Temtselt

1970年代末、80年代初め頃から中国国内でモンゴル人の人権や中国人の大量移住に反対する運動を展開しましたが、当局の激しい弾圧を受け、1993年に政治難民としてドイツに移住。1997年、内モンゴル人民党を結成、党主席に選出され、国連への南モンゴルの人権報告書提出などの実績を挙げ、2006年来日して南モンゴルの平和的手段による独立を目指すことを宣言しました。2008年のUNPO第9回大会には、内モンゴル代表として出席、ヨーロッパを中心に活躍している。



ルービン
Rubin Gendengzhamusu

1967年生まれ。2006年、大阪外国語大学大学院在学中、同志たちと共に、中国共産党支配地域となっている南モンゴル（いわゆる内モンゴル自治区）の全権独立を目指す政治団体モンゴル自由連盟党を結成、その党首に選ばれた。2007年から2011年、モンゴルウランバートル市で苦しい生活をしながら活動を続け、2011年からアメリカ合衆国に移住。現在はアメリカを拠点に、南モンゴルの問題を訴えている。



南モンゴル自由民主運動基金
South-Mongolian Liberal Democratic Fund